

# みやぎグリーン購入セミナー

## ～地域に根ざした環境取組の推進について～

平成 27 年 2 月 9 日 (月) 13:30～15:30

パレス宮城野 萩の間 A 出席者: 56 名

主催: 宮城県 共催: みやぎグリーン購入ネットワーク

「みやぎグリーン購入セミナー ～地域に根ざした環境取組の推進について～」は、2 月 9 日盛況裏に終了いたしました。第 16 回グリーン購入大賞で審査委員会特別賞と審査員奨励賞を受賞された 2 団体の講演に、宮城県内の行政や企業から募集定員を上回る 56 名の参加があり、関心の高さが伺えました。



### ■「バイオディーゼル燃料で震災復興!～津波で被害を受けた塩害農地や放射能汚染農地を救う菜の花プロジェクト～」大崎市古川 有限会社千田清掃 代表取締役 千田信良氏



#### <概要>

一般廃棄物処理業の他バイオディーゼル (BDF) 燃料製造を事業としている。原料となる廃食用油の回収、利用者拡大・普及に取り組み、県内外 600 ヶ所に廃食用油回収場所を設け軌道に乗っている。BDF 製造設備 (日量 1,000L 製造可能) の完成 5 日後に 3.11 東日本大震災が起きたが、自家発電機で操業し、即座に高品質 BDF を自家発電機や緊急車両、建設機械に提供した。また、沿岸部の仮設トイレの処理等にも惜しみない貢献をした。東北初の BDF と軽油の混合設備も造り、自社の BDF 分析設備で自社分析。経産省より委託を受けた第三者分析機関での検査義務はその都度合格している。以前から大崎市・東北大学と連携して菜の花プロジェクトを実施していたことから、津波による塩害農地や福島県南相馬市の放射能汚染農地を救うためにさらなる菜の花プロジェクトを推進している。

平成 26 年 10 月には、おおさき未来エネルギー株式会社を 4 社共同で設立し、大崎市市有地を活用した大規模太陽光発電事業「さくらソーラーパーク」を運営している。さらに、宮城県環境教育リーダーとして環境教育にも力をいれ、小中学生をはじめ多くの団体の見学を受け入れている。

## ■『世界の復興モデル都市』を目指して～石巻市におけるスマートコミュニティ構築に向けた取り組み～」石巻市 復興政策部 ICT 総合推進室 鷹見慶一郎氏

### <概要>

3.11 東日本大震災の津波による被害は甚大なものであり、情報と灯りが無いのがどれほど人を不安にするか痛感した。スマートコミュニティ・マスタープランを策定し、東北電力(株)、(株)東芝との協働でスマートコミュニティ推進事業に取り組んでいる。また、東北復興次世代エネルギー研究開発機構では本市を実証試験地として研究を行っている。



公共施設、学校、復興公営住宅などに太陽光発電設備・蓄電池・エネルギーマネジメントシステムなどの環境関連設備を設置し、平常時は低炭素化、災害時は灯りと情報の確保を両立させる安全・安心なまちをつくるため、国・県・市の補助事業を組み合わせ、新蛇田地区をモデル地区として展開している。例えば、非常時に避難経路となる主要な緑路や公園までの灯りを確保、復興公営住宅では廊下と階段の照明が点灯、非常用コンセントで携帯電話やスマートフォンの充電も可能とする。

震災前と比較すると 12,000 人余の人口が減少したが、市民が安心して暮らせる、住みたいと思えるスマートコミュニティを構築し、復興・地域産業の活性化・雇用を促進していきたい。

## ■宮城県の事業・補助事業の説明・・・宮城県環境産業コーディネーター 後藤健一氏

平成 26 年度省エネ・新エネ・3R 等に係る事業者向け補助金の実績について説明がありました。

1. 「みやぎ環境税」の活用による支援事業
  - (1) 省エネルギー・コスト削減実践支援事業
  - (2) 新エネルギー設備導入支援事業
  - (3) 産学官結集型クリーンエネルギーみやぎ創造チャレンジ事業
2. 「産業廃棄物税」活用による支援事業
  - (4) みやぎ産業廃棄物 3R 等推進設備整備事業
  - (5) 3R 新技術研究開発支援事業
  - (6) 産業廃棄物再生資源等有効活用推進事業
  - (7) 宮城県バイオディーゼル燃料利活用奨励金交付事業
3. 環境産業コーディネーター派遣事業

以上